

後志地域 住民アンケート調査

1. 調査目的

- ▶ 後志地域全体を対象とした広域の地域公共交通計画の立案にあたっては、地域住民の移動特性や公共交通の利用実態・ニーズ等を把握する必要がある。
- ▶ このため、地域住民を対象としたアンケート調査を実施している。
- ▶ なお、効果的に実態・ニーズを把握するため、特に公共交通を利用する機会の多い住民から多く意見が回収できるよう調査を計画している。

2. 調査対象

- ▶ 後志地域の全市町村を対象とし、全市町村の住民から一定数の回答を得られるように、目標サンプル数および必要配布世帯数を以下の通り設定している。

表 1 【参考】アンケート調査の目標サンプル数・配布世帯数目安（信頼度 99%で算出）

市町村	R2.1 人口	R2.1 世帯数	地域全体				市町村別		
			目標 サンプル数	必要 配布数※1	配布数対 人口割合	配布 世帯数※2	配布 世帯数※3	配布世帯数 対世帯割合	平均 世帯人数
小樽市(塩谷地区)※4	3,872	2,180	700	3,500	3%	2,333	100	5%	1.8
島牧村	1,433	817					100	12%	1.8
寿都町	2,948	1,678					100	6%	1.8
黒松内町	2,784	1,487					100	7%	1.9
蘭越町	4,669	2,368					110	5%	2.0
ニセコ町	5,403	2,907					130	4%	1.9
真狩村	2,079	972					100	10%	2.1
留寿都村	2,070	1,149					100	9%	1.8
喜茂別町	2,201	1,280					100	8%	1.7
京極町	2,979	1,488					100	7%	2.0
倶知安町	16,892	9,843					420	4%	1.7
共和町	5,858	2,870					130	5%	2.0
岩内町	12,314	6,743					290	4%	1.8
泊村	1,613	899					100	11%	1.8
神恵内村	840	472					100	21%	1.8
積丹町	1,981	1,075					100	9%	1.8
古平町	3,015	1,750					100	6%	1.7
仁木町	3,251	1,685					100	6%	1.9
余市町	18,564	9,844					420	4%	1.9
赤井川村	1,273	752					100	13%	1.7
長万部町※5	5,271	2,941	-	-	1.8				
合計	101,310	55,200				2,900	5%	1.8	

※1 回答率が2割と想定した場合に、目標サンプル分を確保するうえで必要は配布数

※2 1世帯に調査票2枚を配布し、平均回答数が1.5票/世帯と想定した際に、必要な配布世帯数（平均世帯人数は1.7~2.1人程度）

※3 地域全体の必要配布世帯数を、地区内の各市町村の世帯数に応じて配分（最低100部、100部以上は10部単位で切り上げ）

※4 小樽市の調査対象は、JR函館本線の塩谷駅や蘭島駅（及び、同駅周辺のバス路線）を利用する可能性がある「塩谷地区（蘭島・忍路・桃内・塩谷）」の住民

※5 長万部町は、10月中を目処に町の地域公共実態調査を全戸対象に実施予定（当協議会と調査項目、回答を共有予定）

3. 調査方法

- ▶ 調査対象に示した通り、世帯数を絞っての配布となるため、各自治体内において配布地域に偏りが生じないように、配布先をランダムに抽出する。
- ▶ 調査票の配布方法については、各自治体の対応可否を確認し、以下の3つの手法にて実施する。

①自治体からの配布

- ◆ 調査書類一式（依頼文・調査票・返信用封筒）を封筒にセットし、自治体に提供する。
- ◆ 各自治体で手法を調整いただき、調査票一式を自治体からの配布物（広報誌）などと合わせて、ランダムに割り振り配布する。
- ◆ 自治体内全域に調査票が配布されるように、エリアごとの配布数を調整していただく。

②郵送による配布（宛名提供が可能な場合）

- ◆ ランダムに抽出した配布世帯数の送付先データ（郵便番号・住所・氏名）の提供を受け、調査書類一式（依頼文・調査票・返信用封筒）をセットした封筒を、調査委託事業者より直接郵送する。

③郵送による配布（宛名提供が不可の場合）

- ◆ 調査書類一式（依頼文・調査票・返信用封筒）を封筒にセットし、切手貼り付けまで完了した送付用封筒を自治体に提供する。
※送付用封筒は切手貼り付け済みのため、各自治体における郵送費の負担は不要。
- ◆ 郵送作業（送付先住所の貼り付けおよび郵便局への持ち込み）を各自治体で対応いただく。
- ▶ なお、アンケート調査票の回収は、配布方法に関わらず、同封の返送用封筒に調査票を入れて、郵便ポストに投函してもらう方法とする。返送用封筒は、料金受取人払いの手続きを行ったものを用いて、返送先は、調査委託事業者とする。
- ▶ 配布先の抽出にあたっては、可能な範囲で、公共交通を利用する機会の多い高齢者からの回答が多く得られるように考慮した抽出を行っていただく。
- ▶ また、公共交通を利用する機会の多い高校生を対象とした調査も実施を予定しており、市町村間を超えた通学の多い自治体（倶知安町、小樽市等）の公立高校を対象に調査実施に向けた調整を行っている。

4. 調査内容・資料

- ▶ 調査目的を踏まえて、アンケート調査票を作成している。
- ▶ また、アンケート調査の依頼状は、調査の実施主体が「後志地域公共交通活性化協議会」である旨を明記し、自治体で実施している調査とは異なることを示している。
- ▶ 作成した調査票および依頼文を次頁以降に示す。

5. 調査期間

- ▶ 回答期限を11/15（月）として、10/15（金）頃から、各自治体または調査委託事業者より、順次、地域住民に調査資料を郵送している。

「後志地域の公共交通に関するアンケート調査」 へのご協力をお願いします。

現在、北海道庁（後志総合振興局）や後志地域の各市町村などが北海道後志地域公共交通活性化協議会を設立し、後志地域における鉄道やバスなどの公共交通のあり方に関する検討を進めております。

上記の検討の基礎資料とするため、地域住民の皆さまを対象として、移動の状況やコースなどをお伺いするアンケート調査を実施しています。

お手数をお掛けいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

なお、アンケートにご記入いただいた内容は、北海道後志総合振興局（協議会事務局）が責任をもって管理し、個人が特定できないように取り扱います。

◆ ご回答にあたっての注意点 ◆

- ・ 後志地域にお住まいの方から無作為に抽出して配布しております。
- ・ 封筒には、アンケート調査票が2人分と返信用封筒が1部入っています。世帯にお住まいのご家族の中で、2人にご回答をお願いします。対象となる方が3人以上いる場合は、**公共交通をよく使う人が優先してご回答ください**。
- また、対象となる方が1人の場合は、1人分を回答していただき、余った調査票は、お手数ですが破棄してください。
- ・ 同封のアンケート調査票に回答を記入いただき、回答いただいた調査票を返信用封筒に入れて、**令和3年11月15日（月）までに郵便ポストに投函してください**（切手は不要です）。
- ・ ご回答は、当てはまる番号に **○** をつけるものと、**()** 内に数字や文章をご記入いただくものがありますので、お間違えのないようにご回答ください。

■本調査に関するお問合せ先・回答送付先（調査委託事業者）

株式会社 建設技術研究所 北海道支社 道路室（担当：小澤・野村）
TEL：011-281-7145 FAX：011-281-1388

■本調査の実施主体

北海道後志地域公共交通活性化協議会
事務局：北海道 後志総合振興局 地域創生部 地域政策課（担当：佐野）
TEL：0136-23-1419

■お住まいの市町村の担当窓口

小樽市 建設部新幹線・まちづくり推進室	島牧村 企画課	寿都町 企画課	黒松内町 企画環境課
蘭越町 総務課	二セコ町 企画環境課	興符村 総務課	留寿都村 企画観光課
喜茂別町 総務課	京極町 企画振興課	俱知安町 総合政策課	共和町 企画振興課
岩内町 経営企画部企画財政課	泊村 総務課	神恵内村 総務課	積丹町 企画課
古平町 総務課	仁木町 企画課	余市町 総務部企画政策課	赤井川村 総務課

後志地域の公共交通に関するアンケート調査

1 あなたご自身のことについてお聞きします。

問1 あなたの性別をお教え下さい。(〇は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 無回答

問2 あなたの年齢をお教え下さい。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|------------------|
| 1. 小中学生 | 2. 高校生 | 3. 18～24歳(高校生除く) |
| 4. 25～34歳 | 5. 35～44歳 | 6. 45～54歳 |
| 7. 55～64歳 | 8. 65～74歳 | 9. 75歳以上 |

問3 あなたのご職業をお教え下さい。(〇は1つ)

- | | | | |
|--------------|--------|--------|----------|
| 1. 会社員・団体職員 | 2. 公務員 | 3. 自営業 | 4. 主婦・主夫 |
| 5. パート・アルバイト | 6. 学生 | 7. 無職 | |
| 8. その他() | | | |

問4 あなたのお住まいの市町村と地区をお教え下さい。(市町村は、選択肢1～22のうち、当てはまる1つに〇をつけて下さい。22を選んだ場合は、()に具体的な市町村名を記入して下さい。地区名は、市町村に続く町字名を記入して下さい。番地の記載は不要です。)

- 【市町村】 1. 小樽市 2. 島牧村 3. 寿都町 4. 黒松内町 5. 蘭越町
 6. ニセコ町 7. 真狩村 8. 留寿都村 9. 喜茂別町 10. 京極町
 11. 倶知安町 12. 共和町 13. 岩内町 14. 泊村 15. 神恵内村
 16. 積丹町 17. 古平町 18. 仁木町 19. 余市町 20. 赤井川村
 21. 長万部町 22. その他()
- 【地区名】()

問5 あなたの家から一番近いバス停・鉄道駅名と家からの所要時間(徒歩)をお教え下さい。

バス停・鉄道駅名() 家からバス停・鉄道駅まで歩いて()分

問6 あなたは普段、車(原付・バイクを含む)を運転されますか。(〇は1つ)

1. 運転している 2. 運転していない



問7 車を運転される方は、何歳くらいまで自分で運転したいと考えていますか。(年齢を記入)
 また、今後、運転が困難になった場合の移動についてどのように考えていますか。(〇は1つ)

- ()歳まで自分で運転する
- 【運転が困難になった場合】 1. バスや鉄道などの公共交通を利用することになる
 2. 家族や知り合いに送迎してもらう
 3. 長い距離の移動が必要のない市街地などへ引っ越す
 4. その他()

問8 車を運転されない方は、自分以外が運転する車での移動状況をお教え下さい。(〇は1つ)

1. 自分の希望に合わせて家族や知り合いに比較的自由に送迎してもらえる
 2. 家族や知り合いに送迎してもらえる時もある
 3. 車で移動する方法はない

2 道央エリアの中核都市(札幌市・小樽市※)への移動についてお聞きします。

※小樽市在住の方は、中央・南小樽・朝里・銭函地域等の小樽駅以東への移動についてご回答下さい。

問9 中核都市(札幌市・小樽市)へ訪れる頻度をお教え下さい。(〇は1つ)

1. 週4～7回 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年1回以上 6. 年1回未満

→ **問13** ^

問10 中核都市(札幌市・小樽市)へ行く際の、主な目的をお教え下さい。(当てはまるもの全てに〇)

1. 通勤・通学 2. 買い物 3. 通院 4. 官公庁・銀行・郵便局等への用事
5. 観光・レジャー 6. 趣味・サークル活動 7. その他()

問11 中核都市(札幌市・小樽市)へ行く際の、公共交通(バスや鉄道)の利用についてお教え下さい。

① 公共交通の利用頻度(〇は1つ)

1. 週4～7回 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 年1回以上 6. 年1回未満

→ **問12** ^

② 利用する公共交通(当てはまるもの全てに〇)

1. 鉄道 2. 高速バス【高速おたる号、高速いわない号、高速ニセコ号、高速しゃこたん号、高速よいち号】
3. 路線バス 4. 市町村営バス【コミュニティバス、町内循環バス、スクールバス、デマンドバスなど】

③ 公共交通の乗り継ぎの有無(〇は1つ)

1. 乗継ぎを行う【例：自宅の近くのバス停から鉄道駅までバスで移動、鉄道に乗り換えて札幌に移動】
2. 乗継ぎを行わない

④ 公共交通に対する意見(当てはまるもの全てに〇)

1. 運行便数がもう少し増えるとよい 2. 運行時間帯が少し合わない
3. 運賃がもう少し安いとよい 4. 車両の乗降がもう少し楽だとよい
5. 路線や時刻、予約の仕方などがもう少しわかりやすく簡単だとよい
6. 乗継ぎの接続時間がもう少し短いとよい 7. 乗継ぎの待合空間がもう少し快適だとよい
8. 今のバス・鉄道で問題なく移動できている
9. その他 []

⑤ 新型コロナウイルス感染拡大前(2019年12月以前)と比べた公共交通の利用頻度(〇は1つ)

1. 利用頻度が減った 2. 利用頻度が増えた 3. 利用頻度は変わらない
4. コロナ前と現在で生活が変わったため、比較できない(転居、転勤、転職、進学など)

⑥ 通常時(春期～秋期)と比べた冬期における公共交通の利用頻度(〇は1つ)

1. 冬期は利用頻度が減る 2. 冬期は利用頻度が増える 3. 季節による利用頻度の変化はない

⑦ 公共交通以外の手段の利用有無(〇は1つ)

1. 公共交通以外の交通手段を利用することもある 2. 公共交通以外の交通手段を利用することはない

→ **問12** ^

→ **問13** ^

問12 中核都市（札幌市・小樽市）へ行く際の、公共交通以外の移動手段についてお教え下さい。

① 利用する公共交通以外の移動手段（当てはまるもの全てに○）

1. 自家用車（自分で運転） 2. 自家用車（家族等による送迎） 3. タクシー・ハイヤー
4. 徒歩・自転車のみ 5. その他（

② 公共交通以外の手段を利用する理由（当てはまるもの全てに○）

1. 車などで問題なく移動できており、バス・鉄道を使う必要がないため
2. 希望の時間帯にあう便がないため 3. 家からバス停・駅までが遠いため
4. 目的地からバス停・駅までが遠いため 5. 運賃が高いため
6. 車両の乗降が大変なため 7. 路線や時刻、予約の仕方などがよくわからないため
8. バス・鉄道の乗継ぎが必要なため 9. バス・鉄道の乗継ぎの待ち時間が長いため
10. その他（

3 後志地域における日常的な移動（春期～秋期）についてお聞きます。

〔1〕地域中心都市（余市町・倶知安町・岩内町※）への移動について

※余市町・倶知安町・岩内町在住の方は、在住の自治体以外への移動についてご回答下さい。

問13 地域中心都市のうち、移動頻度が最も高い市町村についてお教え下さい。（○は1つ）

1. 余市町 2. 倶知安町 3. 岩内町 4. 地域中心都市への移動はない

→ **問18** ^

問14 問13で選択した地域中心都市へ訪れる頻度をお教え下さい。（○は1つ）

1. 週4～7回 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 月1回未満

→ **問18** ^

問15 問13で選択した地域中心都市へ行く際の、主な目的をお教え下さい。（当てはまるもの全てに○）

1. 通勤・通学 2. 買い物 3. 通院 4. 官公庁・銀行・郵便局等への用事
5. 観光・レジャー 6. 趣味・サークル活動 7. その他（

問16 問13で選択した地域中心都市へ行く際の、公共交通（バスや鉄道）の利用についてお教え下さい。

① 公共交通の利用頻度（○は1つ）

1. 週4～7回 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 月1回未満

→ **問17** ^

② 利用する公共交通（当てはまるもの全てに○）

1. 鉄道 2. 高速バス【高速おたる号、高速いわない号、高速ニセコ号、高速しゃこたん号、高速よいち号】
3. 路線バス 4. 市町村営バス【コミュニティバス、町内循環バス、スクールバス、デマンドバスなど】

③ 公共交通の乗り継ぎの有無（○は1つ）

1. 乗継ぎを行う【例：自宅の近くのバス停から鉄道駅までバスで移動、鉄道に乗り換えて余市に移動】
2. 乗継ぎを行わない

④ 公共交通に対する意見（当てはまるもの全てに○）

1. 運行便数がもう少し増えるとよい 2. 運行時間帯が少し合わない
3. 運賃がもう少し安いとよい 4. 車両の乗降がもう少し楽だとよい
5. 路線や時刻、予約の仕方などがもう少しわかりやすく簡単だとよい
6. 乗継ぎの接続時間がもう少し短いとよい 7. 乗継ぎの待合空間がもう少し快適だとよい
8. 今のバス・鉄道で問題なく移動できている
9. その他（

⑤ 新型コロナウイルス感染拡大前（2019年12月以前）と比べた公共交通の利用頻度（〇は1つ）

1. 利用頻度が減った 2. 利用頻度が増えた 3. 利用頻度は変わらない
4. コロナ前と現在で生活が変わったため、比較できない（転居、転勤、転職、進学など）

⑥ 通常時（春期～秋期）と比べた冬期における公共交通の利用頻度（〇は1つ）

1. 冬期は利用頻度が減る 2. 冬期は利用頻度が増える 3. 季節による利用頻度の変化はない

⑦ 公共交通以外の手段の利用有無（〇は1つ）

1. 公共交通以外の交通手段を利用することもある 2. 公共交通以外の交通手段を利用することはない

➡ 問17 へ

➡ 問18 へ

問17 問13で選択した地域中心都市へ行く際の、公共交通以外の移動方法についてお教え下さい。

① 利用する公共交通以外の移動手段（当てはまるもの全てに〇）

1. 自家用車（自分で運転） 2. 自家用車（家族等による送迎） 3. タクシー・ハイヤー
4. 徒歩・自転車のみ 5. その他（ ）

② 公共交通以外の手段を利用する理由（当てはまるもの全てに〇）

1. 車などで問題なく移動できており、バス・鉄道を使う必要がないため
2. 希望の時間帯にあう便がないため 3. 家からバス停・駅までが遠いため
4. 目的地からからバス停・駅までが遠いため 5. 運賃が高いため
6. 車両の乗降が大変なため 7. 路線や時刻、予約の仕方などがよくわからないため
8. バス・鉄道の乗継ぎが必要なため 9. バス・鉄道の乗継ぎの待ち時間が長いため
10. その他 []

〔3〕後志地域内や周辺地域でその他に移動頻度の高い市町村への移動について

問20 これまでに確認した以外の市町村で、移動頻度が最も高い市町村をお教え下さい。(〇は1つ)

- | | | | | |
|------------|---------|---------|----------|----------|
| 1. 島牧村 | 2. 寿都町 | 3. 黒松内町 | 4. 蘭越町 | 5. ニセコ町 |
| 6. 真狩村 | 7. 留寿都村 | 8. 喜茂別町 | 9. 京極町 | 10. 倶知安町 |
| 11. 共和町 | 12. 岩内町 | 13. 泊村 | 14. 神恵内村 | 15. 積丹町 |
| 16. 古平町 | 17. 仁木町 | 18. 余市町 | 19. 赤井川村 | 20. 長万部町 |
| 21. その他() | | | | |

問21 問20で選択した市町村へ訪れる頻度をお教え下さい。(〇は1つ)

1. 週4～7回 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 月1回未満

→ **問25** へ

問22 問20で選択した市町村へ行く際の、主な目的をお教え下さい。(当てはまるもの全てに〇)

1. 通勤・通学 2. 買い物 3. 通院 4. 官公庁・銀行・郵便局等への用事
5. 観光・レジャー 6. 趣味・サークル活動 7. その他()

問23 問20で選択した市町村へ行く際の、公共交通(バスや鉄道)の利用についてお教え下さい。

① 公共交通の利用頻度(〇は1つ)

1. 週4～7回 2. 週2～3回 3. 週1回 4. 月1～3回 5. 月1回未満

→ **問24** へ

② 利用する公共交通(当てはまるもの全てに〇)

1. 鉄道 2. 高速バス【高速おたる号、高速いわない号、高速ニセコ号、高速しゃこたん号、高速よいち号】
3. 路線バス 4. 市町村営バス【コミュニティバス、町内循環バス、スクールバス、デマンドバスなど】

③ 公共交通の乗り継ぎの有無(〇は1つ)

1. 乗継ぎを行う【例：自宅の近くのバス停から鉄道駅までバスで移動、鉄道に乗り換えて長万部に移動】
2. 乗継ぎを行わない

④ 公共交通に対する意見(当てはまるもの全てに〇)

1. 運行便数もう少し増えるとよい 2. 運行時間帯が少し合わない
3. 運賃がもう少し安いとよい 4. 車両の乗降がもう少し楽だとよい
5. 路線や時刻、予約の仕方などがもう少しわかりやすく簡単だとよい
6. 乗継ぎの接続時間がもう少し短いとよい 7. 乗継ぎの待合空間がもう少し快適だとよい
8. 今のバス・鉄道で問題なく移動できている
9. その他 []

⑤ 新型コロナウイルス感染拡大前(2019年12月以前)と比べた公共交通の利用頻度(〇は1つ)

1. 利用頻度が減った 2. 利用頻度が増えた 3. 利用頻度は変わらない
4. コロナ前と現在で生活が変わったため、比較できない(転居、転勤、転職、進学など)

⑥ 通常時(春期～秋期)と比べた冬期における公共交通の利用頻度(〇は1つ)

1. 冬期は利用頻度が減る 2. 冬期は利用頻度が増える 3. 季節による利用頻度の変化はない

⑦ 公共交通以外の手段の利用有無(〇は1つ)

1. 公共交通以外の交通手段を利用することもある 2. 公共交通以外の交通手段を利用することはない

→ **問24** へ

→ **問25** へ

4 公共交通施策についてご意見をお聞きます。

問25 全国的に採算性の確保できない路線を税金等による補助で維持したり、ドライバーの確保が難しいという状況がある中で、今後、後志地域の公共交通を維持するための方針について、ご意見をお教え下さい。（それぞれ最も当てはまる1つに○）

公共交通の維持方針	理解できる			
	理解できる	やや理解できる	あまり理解できない	まったく理解できない
①運行にかかる経費を税金等から補助し、サービス水準を維持する	1	2	3	4
②利用料金の値上げを行い、サービス水準を維持する	1	2	3	4
③運行経費を抑えるため、運行頻度を減らす	1	2	3	4
④運行経費を抑えるため、乗車に事前予約が必要な運用とする	1	2	3	4
⑤運行経費を抑えるため、目的地までに乗継ぎが必要な運用とする	1	2	3	4
⑥運行経費を抑えるため、目的地まで時間がかかる運用とする	1	2	3	4
⑦ドライバー確保が不要な自動運転車両を導入する	1	2	3	4

問26 今後、後志地域における移動の利便性を向上していくうえで、交通に関する新たな仕組みが導入された場合に、利用を考えられるかご意見をお教え下さい。（それぞれ最も当てはまる1つに○）

仕組み	導入された場合に利用する			
	そう思う	ややそう思う	そう思わない	まったく思わない
①スマホや PC 等から複数の交通手段を組合せた経路検索や予約・支払いが一括で可能となる仕組みの導入	1	2	3	4
②同じ目的地に移動する「ドライバー」と「同乗者」をマッチングし、同乗する仕組みの導入	1	2	3	4
③事前登録・予約を行い、指定された時間に指定された場所へ送迎するデマンド交通の導入（予約の組合せに応じて、ピックアップにかかる時間や目的地までの所要時間は変動する）	1	2	3	4

5 その他

問27 最後に、後志地域の公共交通全般についてご意見等がございましたら、下記に自由にお答え下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
 回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、11月15日（月）までに、郵便ポストに投函して下さい。（切手不要）